2 市の借金は２０３億４，３２８万円

全会計の平成３０年度末借金残高合計は２０３億４，３２８万円で、前年度に比べ、３億４，９２２万円の減少となっています。

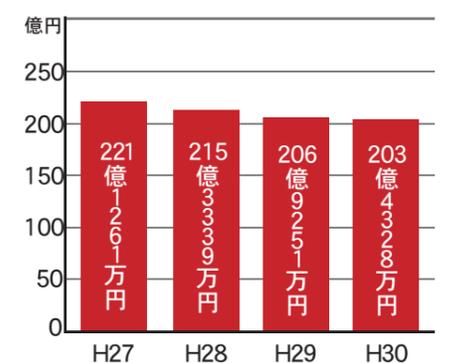
一般会計では、前年度に比べ２億２，９１０万円の増加となっています。

特別会計は、全ての会計で減少となり、前年度に比べ５億７，８３１万円の減少となっています。

なお、地方債の元利償還金等には、交付税措置があります（市が借金を返済するために必要な金額について、地方交付税を増額して国が配分する措置です）。

■全会計借金残高

	平成３０年度末残高	前年度比増減額
一般会計	１５９億3，３７3万円	2億2，９１0万円
水道事業会計	1億7，０７9万円	▲1，６４1万円
工業用水道事業会計	1億3，９５3万円	▲1，１８9万円
簡易水道事業特別会計	１４億6，６５0万円	▲1億1，２１5万円
公共下水道事業特別会計	１８億0，９１2万円	▲1億5，２８3万円
特定環境保全公共下水道事業特別会計	7億9，６２3万円	▲6，８８6万円
農業集落排水事業特別会計	2，７３8万円	▲2億1，６１8万円
合　　計	２０3億4，３２8万円	▲3億4，９２2万円

◆借金残高の推移

3 市の基金（貯金）は１２５億４，４２６万円

全会計の平成３０年度末基金残高は、１２５億４，４２６万円で、前年度に比べ、４億５，１９９万円の減少となっています。

一般会計では、財政調整基金および施設等整備基金等を取り崩したことにより、前年度に比べて、９，７６１万円減少しました。

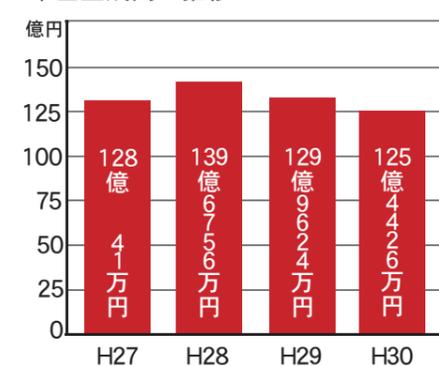
一方、特別会計では、ほとんどの会計で基金の取り崩しがあり、前年度に比べて、３億５，４３８万円減少しました。

■全会計基金残高

		平成３０年度末残高	前年度比増減額
一般会計	財政調整基金　※2	４8億4，７４9万円	▲5，７５7万円
	減債基金　※3	１0億6，３３7万円	0円
	特定目的基金	５9億4，７９0万円	▲4，０0４万円
	土地開発基金	2億8，７６8万円	0円
	一般会計合計	１２1億4，６４4万円	▲9，７６1万円
国民健康保険特別会計		8，６５5万円	▲1億3，５１4万円
介護保険特別会計（保険事業勘定）		1億6，９７7万円	0円
水道事業会計		1億4，１５0万円	▲2億1，９２4万円
合　　計		１２5億4，４２6万円	▲4億5，１９9万円

◆基金残高の推移

市民一人当たりの※1
貯金４８.０万円

©やなせたかし
かりかりモモコちゃん

※１ 平成３１年４月１日現在香美市の人口（２６，１２１人）を基に算出。
※２ 年度間の財源の不均衡を調整するために設けられる基金。
※３ 地方債の償還（借金返済）を年度を越えて計画的に行うための基金。

4 健全化判断比率と資金不足比率

自治体全体の財政状況を判断するための４つの健全化判断比率のいずれかが、早期健全化基準以上である場合は、国から財政健全化計画の策定を、財政再生基準以上である場合は財政再生計画の策定を義務づけられ、健全化が求められます。

また、公営企業の資金不足比率が経営健全化基準以上である場合は、経営健全化計画の策定が義務づけられ、健全化が求められます。

香美市は、早期健全化基準および経営健全化基準をいずれも超えていません。

■平成３０年度決算に基づく香美市の健全化判断比率　（単位：％）

指　　標	香美市	県内平均	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	▲0．９５ ※1	▲　２．３	１３．３７	２０．０
連結実質赤字比率	▲4．４９ ※1	▲１２．７	１８．３７	３０．０
実質公債費比率	９．０	１０．６	２５．００	３５．０
将来負担比率	▲５２．８０ ※2	４７．８	３５０．００	ー　※3

※１ 比率の前の▲は、黒字ということを表しています。
※２ 借金残高等の将来負担額より基金等の充当可能財源等が多いため比率を▲で表示しています。
※３ 財政再生基準がない。

■資金不足比率　（単位：％）

会　計　名	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	▲１３１．０ ※1	２０．００
工業用水道事業会計	ー ※2	
簡易水道事業特別会計	▲０．１ ※1	
公共下水道事業特別会計	▲０．２ ※1	
特定環境保全公共下水道事業特別会計	▲１５．６ ※1	
農業集落排水事業特別会計	▲０．５ ※1	

※１ 比率の前の▲は、黒字ということを表しています。
※２ 営業収益またはそれに相当する収入がない。

用　語　解　説

実質赤字比率
普通会計の赤字の深刻度を表す指標（小さいほどよい）。

連結実質赤字比率
市の持つすべての会計を対象にして、赤字の深刻度を表す指標。

実質公債費比率
税収、地方交付税など一般財源の収入に占める借金の返済（公債費など）の割合を表す指標。この比率が大きいと、他の支出にまわせるお金が少なくなっていることを意味します。

将来負担比率
市債（借金）残高など、普通会計が将来負担すべき負債の指標です。この比率が高いほど、将来負担する額が大きく、今後の財政運営が圧迫される恐れがあります。

資金不足比率
公営企業の資金不足を、料金収入の規模と比較して指標化したもの。この比率が高いほど経営状態の悪化が深刻であることを表します。

健全化判断比率等と会計区分

区分		会計
香美市	普通会計	一般会計
	公営事業会計	国民健康保険特別会計 後期高齢者医療特別会計 介護保険特別会計（保険事業勘定） 介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）
		水道事業会計 工業用水道事業会計 簡易水道事業特別会計 公共下水道事業特別会計 特定環境保全公共下水道事業特別会計 農業集落排水事業特別会計
一部事務組合・広域連合		香美郡殖林組合、香南香美衛生組合 香南斎場組合、香南香美老人ホーム組合 南国・香南・香美租税債権管理機構 香南清掃組合、こうち人づくり広域連合 高知県広域食肉センター事務組合 高知県市町村総合事務組合 高知県後期高齢者広域連合
地方三公社・第三セクター		該当なし ※損失補償をしていない第三セクターは、対象外となってます。

実質赤字比率（一般会計）
連結実質赤字比率（香美市の全会計）
実質公債費比率（香美市の全会計および一部事務組合・広域連合）
将来負担比率（香美市の全会計、一部事務組合・広域連合および地方三公社・第三セクター）
資金不足比率（水道事業会計～農業集落排水事業特別会計）※公営企業会計ごとに算定